

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

区分	委員及び関係者の意見	現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期	
(1) 図書館資料・情報の 利活用と整備・充実	1	・医療機関の図書室は、診断から治療までの本を中心に集めている。ビフォー（予防）・アフター（退院後など）の本は十分ではないので、新図書館と連携して必要な情報が届けられるようにしたい。	【現状】 ・資料収集方針に基づき収集	・関係機関と情報共有・連携しながら、利用者が必要とする情報を収集・提供していく。	開館前から
	2	・急性期を過ぎて在宅へ移行する際のリハビリ、栄養管理、職場復帰等の悩みに関する情報を集められる、生活を支える図書館であるべき。	【課題】 ・予防、在宅療養等生活上の課題解決に役立つ資料について重点的に収集していく必要あり。 ・資料の更新に係る優先順位付けとルールの確立	・健康・安心・防災分野の資料を分かりやすく配置するとともに、利用者が必要とする資料・情報の提供に努める。 ・専門的なものも含めて、雑誌、新聞等を収集し、提供していく。	開館後 (一部開館前から)
	3	・医学書は5年で内容が古くなる。6～7万冊の蔵書があれば、大量に更新しないとイケないので、十分な予算が必要。	・資料、情報の寄贈を含めた収集方法の検討	・専門機関からも意見を聞きながら、資料や情報の更新を図っていく。	
	4	・「日本栄養士会雑誌」を購入してほしい。			
	5	・信頼性の高い情報を提供するの司書の使命であり、専門的な司書研修を行い、限られた予算の中で買う本の精度を上げ、信頼できる本を揃えることが重要。	【現状】 ・病院図書館への派遣研修、医療情報に関する専門研修に県市の司書を派遣している。	・専門図書館等での実地研修に参加するなどして、医療健康分野の専門性を高める。 ・専門機関が開催する講演会やセミナー等に積極的に参加し、専門性の向上を図るとともに、専門機関等との関係づくりを行っていく。	開館前から
	6	・本の数を増やすだけでなく、情報をまとめる司書の力量を上げていくことも重要。	【課題】		
	7	・日進月歩で進歩する医学情報を提供するためには司書の自己学習だけでは限界があり、外部研修に何度も出すことが必要。医療機関が行う一般公開の講演会にも出席し、出前図書館の際も会場で話を聞いてほしい。	・司書の専門性の向上 ・専門機関との連携・協力体制の構築 ・専門機関と図書館双方の役割分担の整理と情報共有		

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

区分	委員及び関係者の意見	現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期	
(1) 図書館資料・情報の利活用と整備・充実	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関の図書室が持っている資料が、県民全体に届けられるシステムが出来ているか。県民が専門書を利用できるように、医療機関の図書館等との連携が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・専門機関との連携・協力体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センター図書室がもつ専門的な図書を県民も活用できるように、医療センター図書室との協定の締結や物流も含めた仕組みづくりを検討する。</li> </ul>	開館前から
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な医学論文が読みたい。医中誌Webや日本看護協会のデータベースを導入してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【現状】</li> <li>・「JDreamⅢ」(医学論文の索引を検索できるデータベース)を県立図書館に導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学文献索引、新聞記事等のデータベースを導入する。</li> </ul>	開館前から
(2) 連携・協力してできること	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センター図書室は、専門的な医学情報を提供できる。文献複写も可能。ブックリストを見て興味を持った患者に図書館を案内するといった連携も可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【現状】</li> <li>・県立図書館は大学図書館等とは協定を結んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用者に専門的な情報を提供できるように、専門機関との連携を図っていく。</li> </ul>	開館前から
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センター図書室の6,000タイトルの電子ジャーナルで利用者のニーズに応えられるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・専門的な情報を提供するための専門図書館との物流等の仕組みづくりも含めた連携強化</li> </ul>		
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康関連の情報については専門性が高い。医療機関の方がどこまで一緒にやってくれるのかという所を明らかにしておいた方がよい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の資料と情報だけでは解決が難しい専門性の高い内容などについては、専門機関等と役割分担をしながら連携・協力し、課題解決に向けて取り組む。</li> </ul>	開館前から
	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館業務の中核となる選書やレファレンスを関係機関や専門職が支援するところまで連携が至っていない。そこまでできればそのための会を定期的に行ってもいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・専門機関との連携・協力体制の構築</li> <li>・専門機関と図書館双方の役割分担の整理と情報共有</li> </ul>		
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書の仕事が拡大していくのはいいことでもあるが、選書等の本来の仕事に影響が出ないよう役割分担が必要。システムを作る段階で考えなければならない。</li> </ul>				

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

区分	委員及び関係者の意見	現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期
(2)連携・協力してできること	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療職は日常業務に追われて図書館を利用していないという現状があり、出前図書館がとても好評だった。様々な会に行くと活用されると思う。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の研修会等で出前図書館を行い、関係する図書の貸出しやブックリストの提供、図書館サービスの情報提供を行っている。</li> <li>・今年度からは体制の見直し等で土・日も実施できるようになったため、昨年度よりも実施件数が増えている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前図書館の依頼が多い土・日や休館日である月曜日の依頼にも対応できる体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関と連携して、専門機関の事業・テーマに合わせた出前図書館を行う。</li> <li>・出前図書館では、図書の展示・貸出し、ブックリストの提供とともに、お薦め本のブックトークなど司書ならではのサービスも行っていく。</li> </ul>	開館前から
	<p>16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災関係は研修会が多く、出前図書館から始めていくと図書館の利用も増え、参加した県民・市民も情報に接することができる。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の資料・テーマに合わせてブックリストを作成・提供している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供したブックリストの活用状況の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の事業・テーマに合わせたブックリストを提供することにより、専門機関の取組を支援する。</li> <li>・専門機関に提供したブックリストへの意見をもらい、その意見を反映させていくことで、よりよいブックリストを作成していく。</li> <li>・併せて、ブックリストの周知も図る。</li> </ul>	開館前から
	<p>17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病、食育チェックリストなど専門機関等が作成したチェックリストと本を連動させ、本を薦めるナビゲートをすることで、行動変容につながる。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の資料・テーマに合わせてブックリストを作成・提供している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供したブックリストの活用状況の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の事業・テーマに合わせたブックリストを提供することにより、専門機関の取組を支援する。</li> <li>・専門機関に提供したブックリストへの意見をもらい、その意見を反映させていくことで、よりよいブックリストを作成していく。</li> <li>・併せて、ブックリストの周知も図る。</li> </ul>	開館前から
	<p>18</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する本の新着リストを専門機関のフェイスブックに載せることで、関心の高い人に情報を届けることができる。</li> </ul>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の資料・テーマに合わせてブックリストを作成・提供している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供したブックリストの活用状況の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関の事業・テーマに合わせたブックリストを提供することにより、専門機関の取組を支援する。</li> <li>・専門機関に提供したブックリストへの意見をもらい、その意見を反映させていくことで、よりよいブックリストを作成していく。</li> <li>・併せて、ブックリストの周知も図る。</li> </ul>	開館前から
	<p>19</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関が実施する県民向け講座の情報発信への支援については、県立図書館、市立図書館だけでなく、県内の他の公共図書館との協力を視野に入れてほしい。</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の公共図書館との連携・協力体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が持つ情報発信力を活かし、他の公共図書館等と連携・協力しながら、専門機関の啓発事業や情報発信等をサポートしていく。</li> </ul>	開館前から

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

区分	委員及び関係者の意見	現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期
(2)連携・協力してできること	20 ・専門機関が県民向けの講座を開催しても、情報発信の相手方が関係者に限られがち。関係する分野の本を検索しに来た人に情報が伝わるようになればいい。	【現状】 ・専門機関が行う事業のポスター掲示、チラシの配布  【課題】 ・イベント一覧のフォーマット及び運用方法（掲載する情報の基準等）の作成	・関係機関の情報を共有しながら、健康・医療情報に関するイベント一覧を作成し、図書館及び関係機関のWebサイトなどで情報提供していく。  ・利用者が手に取りやすい位置にチラシを設置し、図書に関連する情報や課題の解決に関する情報を提供する。	開館前から
	21 ・興味がある人がその分野の本を探しに来るので、図書館の関係分野の図書の近くに関連するイベント一覧を置いてほしい。			
	22 ・図書館は情報集積のネットワークの拠点として、県内の関係機関の健康関連イベント情報が一覧できるカレンダーをつくってほしい。			
	23 ・夜間の防災講座を開催するため講師を招聘しており、その講師に図書館で別の講演をしてもらうことができる。	【課題】 ・関係機関と図書館間における継続的な情報交換	・関係機関と連携し、図書館資料を活用した啓発事業の合同開催や図書の団体貸出を行っていく。  ・併せて、関係機関と担当者同士の日常的なやり取りが継続してできる関係を構築していく。	開館後
	24 ・新しく作った津波避難センターの図書室に防災関係の本の貸出しをしてもらうなど、図書館と連携して防災意識を高めていきたい。			
	25 ・県の「健康パスポート」事業と連携して、図書館で行う健康イベントに参加したらポイントを付けるようにすれば足を運んでもらうきっかけになる。	【現状】 ・「健康パスポート」ポイントも付く、高知市健康増進課「いきいき健康チャレンジ」のイベントには、出前図書館を予定（市民図書館）。	・専門機関と連携・協議を進めていく。	開館前から
	26 ・新図書館に相談に来た方に、相談をどこにつなげていけば良いか、専門機関を適切に案内できる仕組みづくりが必要。	【現状】 ・図書館と専門機関が連携した取組ができるように、関係づくりに努めている。 【課題】 ・関係機関と図書館間における継続的な情報交換	・専門機関が開催するセミナーや講演会への参加、専門機関への訪問などを通じて、相互の事業内容を把握するとともに、日常的なやり取りが継続してできる関係を構築していく。	開館前から

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

区分	委員及び関係者の意見	現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期
(2)連携・協力してできること	27 ・学生たちと連携して活動ができないか。学生にとって大きな学びの場ともなる。可能性は十分ある。	【課題】 ・オーテピア全体での学生の受入のルールづくり	・学生と連携した取組を検討する。	開館前から(検討)
(3)新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR	28 ・新図書館は立地も良く人が訪れやすい。また専門機関に行きにくい方でも図書館には行きやすいので、「まちの保健室」事業など、いろいろな事業や相談室の場として利用できるのでは。	【課題】 ・施設運用に関する規則・規程等の整備	・専門機関等と連携しながら、相談会や研修会を新図書館のスペースを活用して実施する。	開館後
	29 ・医療関係者向けあるいは市民向けの研修会、講座の場として図書館を活用したい。図書館の本をあわせて展示することで、理解をより深められるのではないか。			
	30 ・2010年の国勢調査でみると、高知市の就労中の20代・30代女性では医療・保健・福祉関係の職についている人が30%を超えている。福祉系の人に医療・福祉の学習機会が提供されるようになってほしい。			
	31 ・高知市役所でも、医療健康分野の担当司書と連携しながら、がん予防の啓発や認知症等の展示コーナーも設けたい。	【現状】 ・企画展示を実施中	・啓発月間・旬間等に合わせて専門機関と調整のうえ図書館資料を選び、合同で企画展示を実施する。	開館前から
	32 ・司書は情報は提供するが相談を受けることはできない。がん征圧月間の展示を行う際に図書館で医療センターのがん専門窓口の相談員による相談を受けられるようにしてはどうか。 医療センターの認定看護師が出前で相談を行えるので、ぜひ連携を。	【現状】 ・企画展示の実績あり  【課題】 ・専門機関と図書館の役割分担を明確にし、双方にとってよりよい方法を検討。	・専門機関と連携し、各種啓発月間・旬間の展示にあわせ、利用者の課題解決につながるよう、専門職による相談会を実施する。  ・各種啓発月間・旬間の展示に併せて、市町村図書館等でも同様の展示を開催することを働きかけていく。	開館後

○分科会での意見等を踏まえたサービス・取組について

区分	委員及び関係者の意見	現状及び課題等	サービス・取組の方向性	実施時期
(3) 新図書館スペース・設備等の活用、新図書館を活用したPR	33 ・図書館では、目的外のものも目に入るので、情報が広く市民に伝わるような情報発信がしたい。	【現状】 ・企画展示を実施中  【課題】 ・専門機関と図書館の役割分担を明確にし、双方にとってよりよい方法を検討。	・老若男女を問わず、多くの方が利用する図書館の強みを活かし、専門機関と連携して、チラシの配布や企画展示の開催等、様々な形で情報を発信していく。	開館前から
	34 ・地域で自主防災活動を頑張っている人の取組の本など、活動している人のモチベーションを上げたり、活動していない人を活動してみようかと思わせるコーナーがあればいい。			
(4) 図書館サービスの周知・PR	35 ・専門機関の発行する広報誌・情報誌に図書館のサービスをPRしてはどうか。	【課題】 ・日頃図書館を利用しない人に向けた図書館サービスの情報発信 ・Webサイトの見直し	・専門機関の発行する広報誌等に図書館サービスの情報を掲載し、周知を図る。  ・併せて、ブックリストの提供等も検討し、各種広報媒体を活用したさらなる情報発信に取り組んでいく。	開館前から
	36 ・県・市で発行する健康に関するパンフレット等に「もっと知りたいときは図書館に」という案内を入れてはどうか。			
	37 ・各団体がメールで関係者に送付する会報にブックリストを一緒に送付してもらえたら、図書館のPRになるのではないか。			
	38 ・闘病記のコーナーをインフォメーションするといいいのではないか。			
	39 ・関係機関と図書館がリンクを張っておけば、関係機関のWebサイトを閲覧した人に健康の担当司書がいること等の情報発信ができる。		・関係機関のWebサイトに図書館サービスの情報を掲載してもらい、リンクを張ってもらうことで情報の発信につなげる。	開館後 (一部開館前から)